

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期3Q | 6,882,487株 | 2020年3月期 | 6,882,487株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期3Q | 349,658株 | 2020年3月期 | 349,583株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期3Q | 6,532,836株 | 2020年3月期3Q | 6,532,949株 |

(注) 当社は、2021年3月期第2四半期連結会計期間より株式報酬制度を導入しており、当該株式報酬制度の信託財産として株式会社日本カस्टディ銀行（信託口）が保有する当社株式39,400株を考慮して期末自己株式数、期中平均株式数を算定するための控除する自己株式数に含めて計算、記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | 頁 |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 3. 補足情報 | 10 |
| 個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により深刻な停滞に陥りました。さらに2021年1月に昨年来2回目となる緊急事態宣言が再発出されるに至り、経済面での出口の見えない状況は当面続くものと思われまます。

当社グループの建設業界におきましては、公共投資の堅調な推移やコロナ禍を受けての防疫対策の推進、テレワークの拡大によるオフィス環境の見直しなどのリノベーション需要などにより市場機会が見込まれる一方、企業収益の減少を背景にした民間設備投資の抑制などの懸念材料も顕在化し、先行き不透明な状況となっております。

こうした状況のもと、当社グループは、2020年4月に新ブランド「LIVZON」を立ち上げ、建物を活性化し、その価値を高めていくという、当社の提供する事業価値や姿勢を具体化いたしました。

この「LIVZON」ブランドとしての社会的責任を胸に、当社グループは、「中期経営計画“大成温調@Version UP計画”」の基本コンセプトである「企業価値の増大」と「社会への還元」を達成すべく、本業における顧客基盤の強化や調達網の拡充、協力企業との連携強化、直需案件への対応力強化による「競争力の強化」、働き方改革の推進のほか、ICT/IoT分野への投資拡大や国内外における技術および事業提携先の発掘などによる「生産性の向上」、ビジネスモデルの再構築やコーポレートガバナンスの強化などによる「企業価値の向上」などの課題に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比31.0%減の298億82百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同四半期比3.9%減の341億47百万円となり、営業利益は前年同四半期比31.5%減の4億21百万円、経常利益は前年同四半期比26.0%減の5億60百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に完成工事補償引当金戻入額2億68百万円、特別損失に投資有価証券評価損9百万円を計上し、また、法人税等1億60百万円を計上した結果、前年同四半期比47.8%増の6億59百万円となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事について多額になる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費等の固定費は各四半期にはほぼ均等に発生します。時期に偏りのない安定した売上と利益の確保に努めておりますが、利益が連結会計年度末に偏る季節的変動があります。

なお、TAISEI ONCHO INDIA PRIVATE LIMITED (インド)、およびONCHO PHILIPPINES, INC. (フィリピン) につきましては、すでに事業の休止を決定しており、閉鎖に向けた手続きを進めております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

売上高につきましては前年同四半期比6.0%減の273億64百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比2.0%減の2億71百万円となりました。

② 米国

売上高につきましては前年同四半期比3.2%増の47億25百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比70.7%減の98百万円となりました。

③ 中国

売上高につきましては前年同四半期比14.5%増の20億30百万円となり、セグメント利益は58百万円（前年同四半期はセグメント損失21百万円）となりました。

④ インド

売上高につきましては当第3四半期連結累計期間および前年同四半期ともにありません。セグメント損失は18百万円（前年同四半期はセグメント損失22百万円）となりました。

⑤ フィリピン

売上高につきましては当第3四半期連結累計期間および前年同四半期ともにありません。セグメント損失は0百万円（前年同四半期はセグメント損失5百万円）となりました。

⑥ オーストラリア

売上高につきましては前年同四半期比62.4%減の27百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比77.3%減の12百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は404億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億23百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、受取手形・完成工事未収入金等が82億60百万円、電子記録債権が28億56百万円それぞれ減少し、現金及び預金が31億4百万円、未成工事支出金が12億82百万円、土地が19億92百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は170億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億86百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、支払手形・工事未払金等が59億89百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は233億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億36百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が2億46百万円、為替換算調整勘定が1億1百万円それぞれ減少し、利益剰余金が2億2百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の業績への影響は軽微ではありますが、今後の市場環境は未確定要素が多いことから、適正かつ合理的な業績予想の算出は困難となっております。

従って、連結業績予想につきましては、2020年8月6日に公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」から変更はありません。なお、業績修正が必要と判断された場合には、速やかに別途お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,361,365 | 11,465,931 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 18,638,473 | 10,377,999 |
| 電子記録債権 | 5,096,645 | 2,239,712 |
| 有価証券 | 156,711 | 1,770 |
| 未成工事支出金 | 992,253 | 2,274,259 |
| 商品 | 112,781 | 10,115 |
| 原材料 | 165,839 | 210,567 |
| その他 | 562,056 | 1,152,512 |
| 貸倒引当金 | △149,868 | △148,497 |
| 流動資産合計 | 33,936,257 | 27,584,370 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,101,871 | 3,990,130 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,431,636 | 1,417,887 |
| 土地 | 1,909,114 | 3,901,283 |
| 建設仮勘定 | 6,100 | 10,500 |
| その他 | 469,223 | 460,162 |
| 減価償却累計額 | △3,574,711 | △3,641,286 |
| 有形固定資産合計 | 3,343,233 | 6,138,678 |
| 無形固定資産 | 498,461 | 440,022 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,717,542 | 4,383,354 |
| 長期貸付金 | 8,745 | 7,394 |
| 繰延税金資産 | 727,320 | 823,564 |
| その他 | 1,839,689 | 1,257,667 |
| 貸倒引当金 | △231,828 | △219,292 |
| 投資その他の資産合計 | 7,061,470 | 6,252,688 |
| 固定資産合計 | 10,903,164 | 12,831,389 |
| 資産合計 | 44,839,422 | 40,415,759 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 12,021,295 | 6,032,215 |
| 電子記録債務 | 4,662,002 | 3,980,097 |
| 未払法人税等 | 309,401 | 23,797 |
| 未成工事受入金 | 2,229,226 | 5,362,979 |
| 賞与引当金 | 287,249 | 143,083 |
| 完成工事補償引当金 | 322,738 | 60,097 |
| 工事損失引当金 | 85,208 | 164,681 |
| 関係会社整理損失引当金 | 30,500 | 30,500 |
| その他 | 1,262,769 | 1,150,068 |
| 流動負債合計 | 21,210,392 | 16,947,520 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 13,341 | 27,628 |
| その他 | 147,362 | 109,189 |
| 固定負債合計 | 160,703 | 136,818 |
| 負債合計 | 21,371,096 | 17,084,338 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,195,057 | 5,195,057 |
| 資本剰余金 | 5,077,057 | 5,123,181 |
| 利益剰余金 | 12,991,288 | 13,193,394 |
| 自己株式 | △210,485 | △256,736 |
| 株主資本合計 | 23,052,917 | 23,254,897 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 500,127 | 253,805 |
| 為替換算調整勘定 | △50,898 | △152,662 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △33,820 | △24,618 |
| その他の包括利益累計額合計 | 415,408 | 76,523 |
| 純資産合計 | 23,468,326 | 23,331,420 |
| 負債純資産合計 | 44,839,422 | 40,415,759 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 34,524,611 | 33,204,019 |
| その他の事業売上高 | 1,003,587 | 943,770 |
| 売上高合計 | 35,528,198 | 34,147,790 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | 30,836,391 | 29,674,883 |
| その他の事業売上原価 | 772,153 | 782,091 |
| 売上原価合計 | 31,608,544 | 30,456,975 |
| 売上総利益 | | |
| 完成工事総利益 | 3,688,219 | 3,529,136 |
| その他の事業総利益 | 231,433 | 161,678 |
| 売上総利益合計 | 3,919,653 | 3,690,815 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,303,816 | 3,268,887 |
| 営業利益 | 615,837 | 421,927 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 110,783 | 79,308 |
| 受取保険金 | 48,207 | 131,485 |
| 持分法による投資利益 | 32,264 | — |
| その他 | 67,811 | 39,951 |
| 営業外収益合計 | 259,066 | 250,745 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 903 | 5,492 |
| 有価証券売却損 | 14,640 | — |
| 持分法による投資損失 | — | 8,251 |
| 為替差損 | 28,974 | 49,783 |
| 工事補修費 | 42,937 | 34,346 |
| その他 | 30,108 | 14,004 |
| 営業外費用合計 | 117,564 | 111,878 |
| 経常利益 | 757,338 | 560,794 |
| 特別利益 | | |
| 完成工事補償引当金戻入額 | — | 268,672 |
| 関係会社整理損失引当金戻入額 | 11,500 | — |
| 特別利益合計 | 11,500 | 268,672 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | — | 9,999 |
| 特別損失合計 | — | 9,999 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 768,838 | 819,467 |
| 法人税等 | 322,833 | 160,057 |
| 四半期純利益 | 446,004 | 659,409 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 446,004 | 659,409 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 446,004 | 659,409 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 134,985 | △246,322 |
| 為替換算調整勘定 | △94,583 | △89,812 |
| 退職給付に係る調整額 | 3,651 | 9,201 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △31,833 | △11,951 |
| その他の包括利益合計 | 12,220 | △338,885 |
| 四半期包括利益 | 458,225 | 320,524 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 458,225 | 320,524 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | | 調整額 (注) | 四半期連結 財務諸表 計上額 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|---------|--------|-------------|------------|------------|----------------------|
| | 日本 | 米国 | 中国 | インド | フィリピン | オースト ラリア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 29,104,485 | 4,578,078 | 1,772,688 | — | — | 72,945 | 35,528,198 | — | 35,528,198 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,000 | — | — | — | — | — | 2,000 | △2,000 | — |
| 計 | 29,106,485 | 4,578,078 | 1,772,688 | — | — | 72,945 | 35,530,198 | △2,000 | 35,528,198 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 277,071 | 334,731 | △21,799 | △22,244 | △5,551 | 54,973 | 617,181 | △1,344 | 615,837 |

- (注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | | 調整額 (注) | 四半期連結 財務諸表 計上額 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|---------|-------|-------------|------------|------------|----------------------|
| | 日本 | 米国 | 中国 | インド | フィリピン | オースト ラリア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,364,351 | 4,725,547 | 2,030,457 | — | — | 27,433 | 34,147,790 | — | 34,147,790 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 27,364,351 | 4,725,547 | 2,030,457 | — | — | 27,433 | 34,147,790 | — | 34,147,790 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 271,398 | 98,214 | 58,375 | △18,903 | △121 | 12,452 | 421,415 | 512 | 421,927 |

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
 2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況)

| 期別 | 区分 | 前期繰越工事高 (千円) | 当期受注工事高 (千円) | 計 (千円) | 当期完成工事高 (千円) | 次期繰越工事高 (千円) |
|--|----------|-----------------|-----------------|------------|-----------------|-----------------|
| 前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) | 新築工事 | 30,238,304 | 17,100,057 | 47,338,361 | 15,925,151 | 31,413,209 |
| | 改修・保守修理等 | 7,294,363 | 15,734,498 | 23,028,862 | 12,311,615 | 10,717,246 |
| | 計 | 37,532,667 | 32,834,556 | 70,367,224 | 28,236,767 | 42,130,456 |
| 当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日) | 新築工事 | 24,771,833 | 16,354,372 | 41,126,205 | 15,036,022 | 26,090,183 |
| | 改修・保守修理等 | 7,263,111 | 10,467,097 | 17,730,209 | 11,485,972 | 6,244,236 |
| | 計 | 32,034,944 | 26,821,469 | 58,856,414 | 26,521,994 | 32,334,420 |
| 前事業年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日) | 新築工事 | 30,238,304 | 22,650,628 | 52,888,932 | 28,117,099 | 24,771,833 |
| | 改修・保守修理等 | 7,294,363 | 18,861,567 | 26,155,930 | 18,892,819 | 7,263,111 |
| | 計 | 37,532,667 | 41,512,195 | 79,044,863 | 47,009,918 | 32,034,944 |

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合、当期受注工事高にその増減額が含まれております。したがって、当期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 次期繰越工事高は(前期繰越工事高+当期受注工事高-当期完成工事高)に一致しております。